

令和5年度

「厚生事業に関するアンケート調査」

(会計年度任用職員)

集計結果報告書

公立学校共済組合石川支部

I 調査の概要

1 調査の目的

公立学校共済組合石川支部では、収支状況や組合員のニーズを基に現在の事業を定期的に見直し、効果的で持続可能な事業展開を図ることとしている。

このことから、厚生事業のあり方を検討するにあたり、組合員（会員）のニーズを把握するため、アンケート調査を実施する。

2 調査項目

別紙「厚生事業に関するアンケート調査票」のとおり

3 調査対象

公立学校共済組合の会計年度任用職員、524名うち、無作為に抽出した50名

4 調査期間

令和5年7月14日（金） ～ 令和5年7月31日（月）

5 調査方法

所属所を経由して調査対象者あてに調査票を送付し、回答を返送。

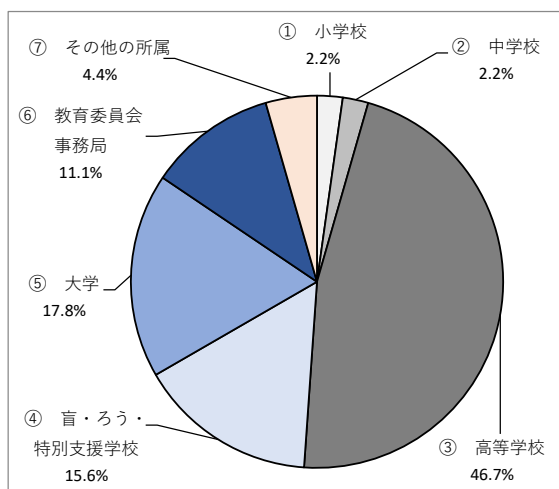
6 回収結果

回答者数合計 45 名 （回答率90.0%）

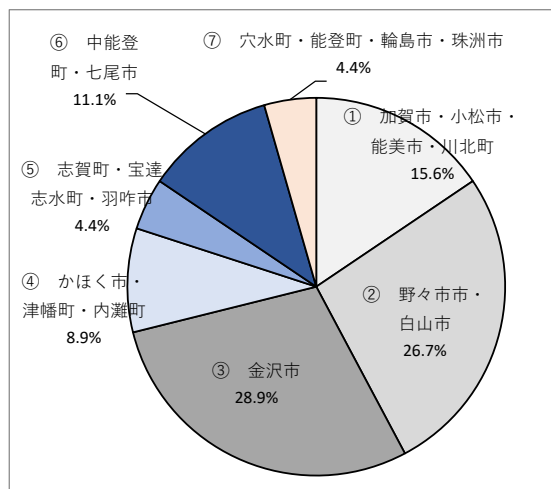
Ⅱ 調査結果

問1【基本事項】

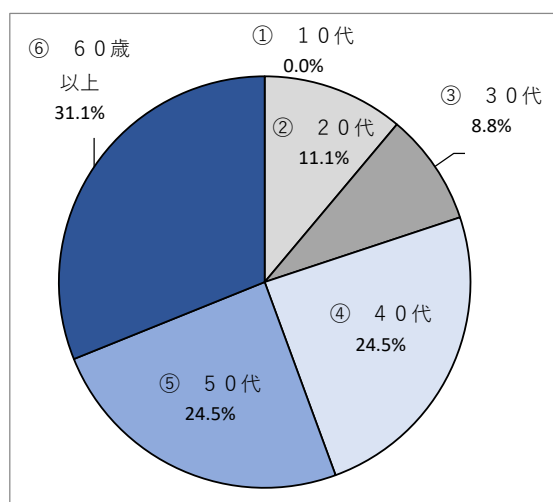
(1) 所属



(2) 勤務地



(3) 年代（令和5年4月1日現在）



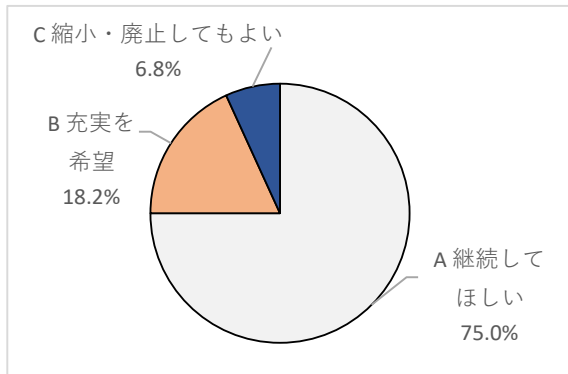
II 調査結果

【共済組合】

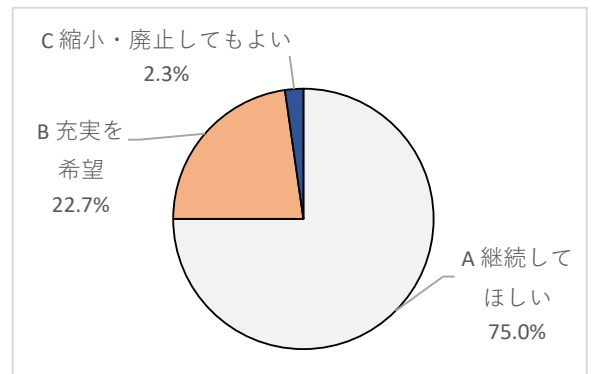
問2 共済組合の厚生事業について

(1) 各事業について

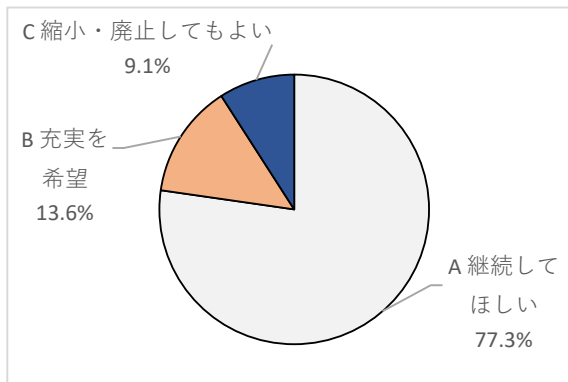
■ 1泊2日ドック



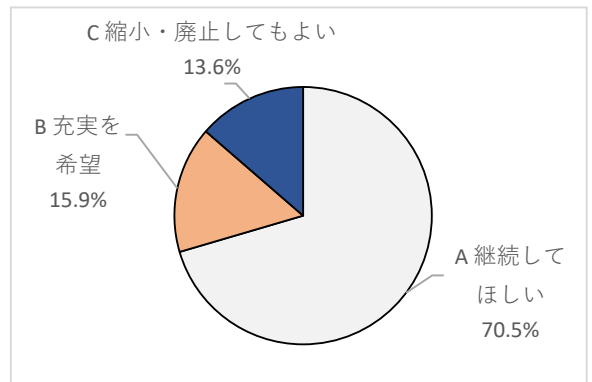
■ 1日ドック



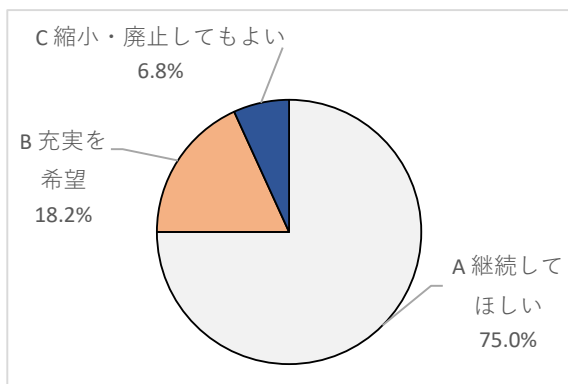
■ 指定年齢ドック (35,40,45,50,55,59歳)



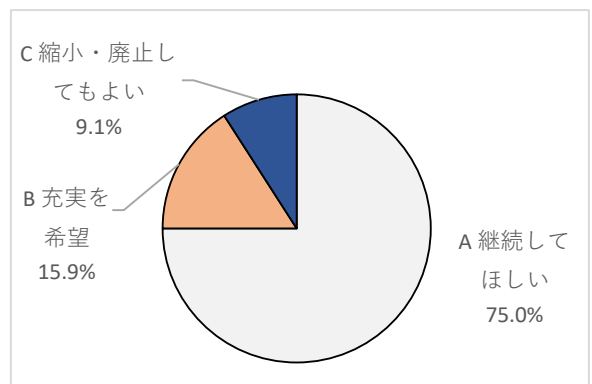
■ PET健診1泊2日ドック



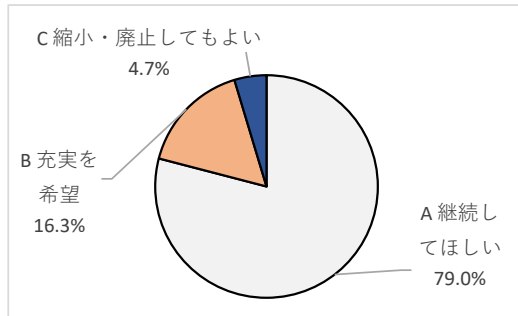
■ 脳MRI + 1日ドック



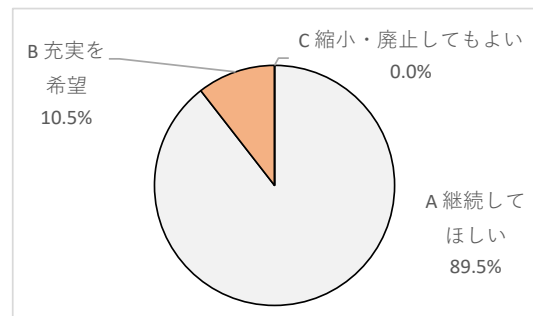
■ 脳ドック



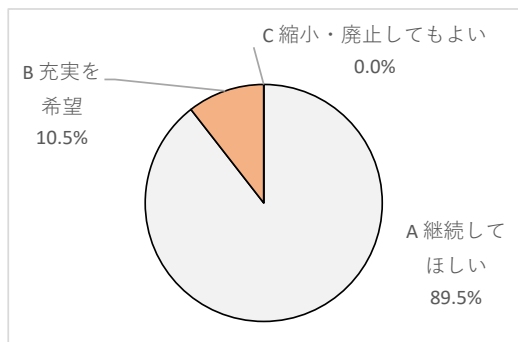
■ 肺がん検診



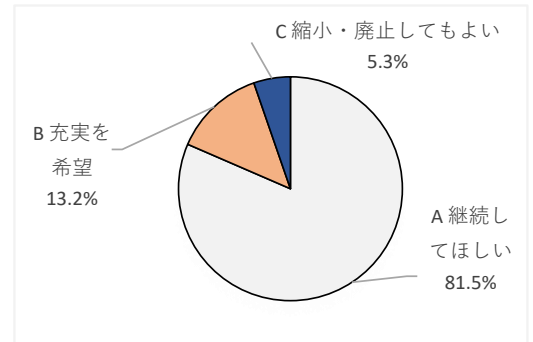
■ 女性検診（子宮がん）



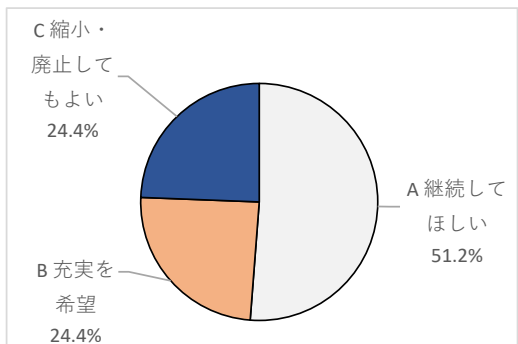
■ 女性検診（乳がん）



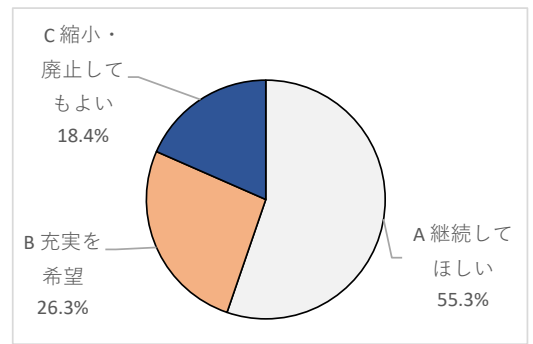
■ 女性検診（骨密度）



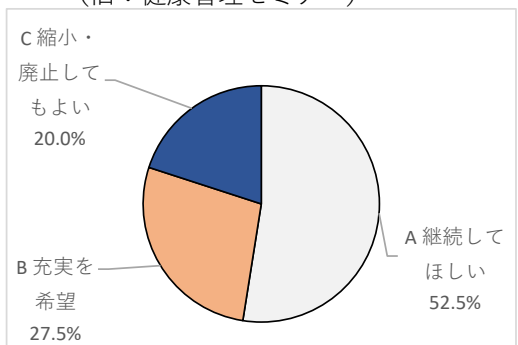
■ 元気力アップセミナー



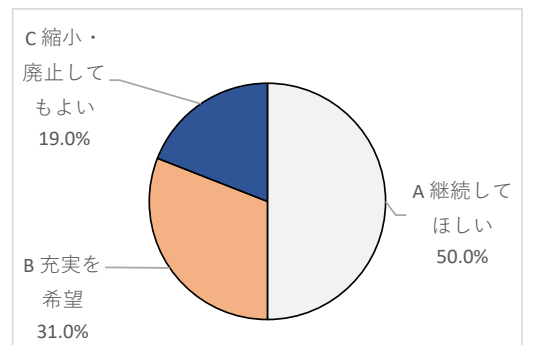
■ 女性健康講座



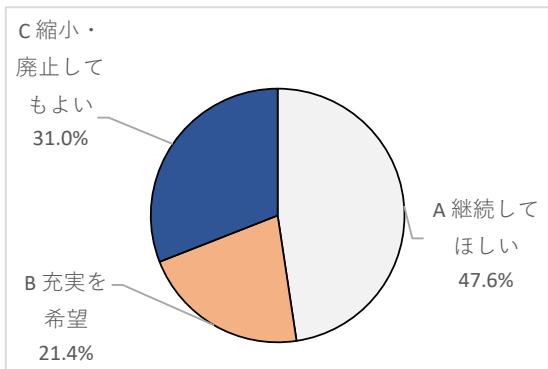
■ メンタルヘルス情報配信セミナー
(旧：健康管理セミナー)



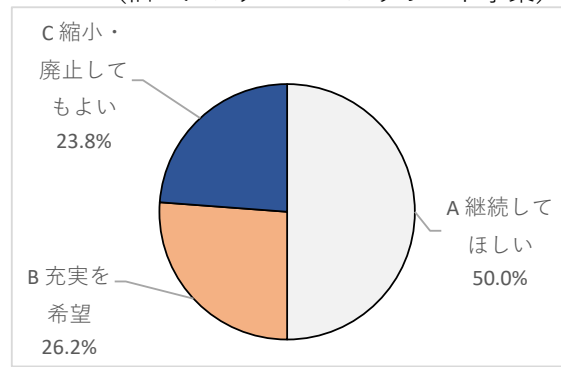
■ 運動等健康セミナー



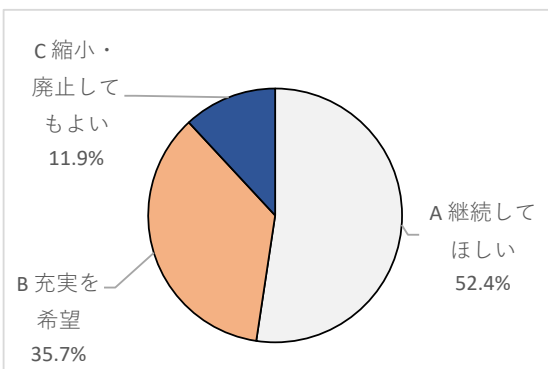
■ 健康づくり講師派遣事業



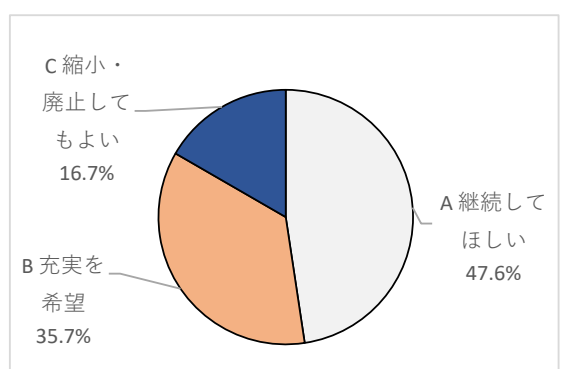
■ メンタルヘルス講師派遣事業
(旧：メンタルヘルスサポート事業)



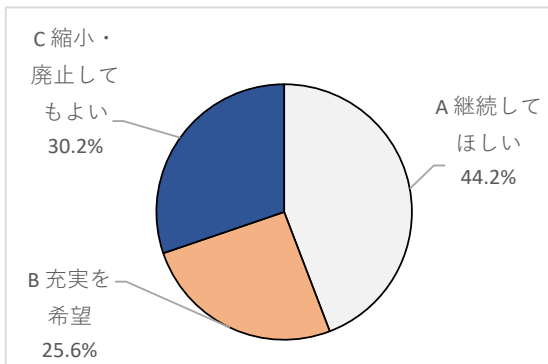
■ 教職員メンタルルーム相談



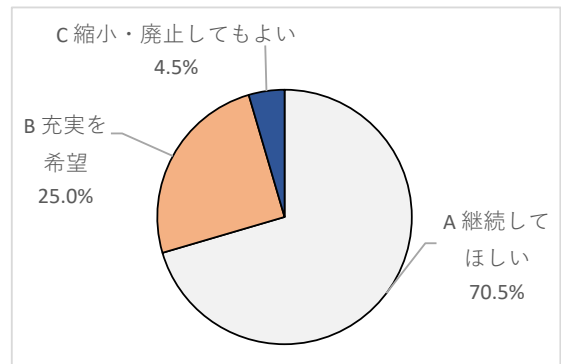
■ メンタルヘルス相談



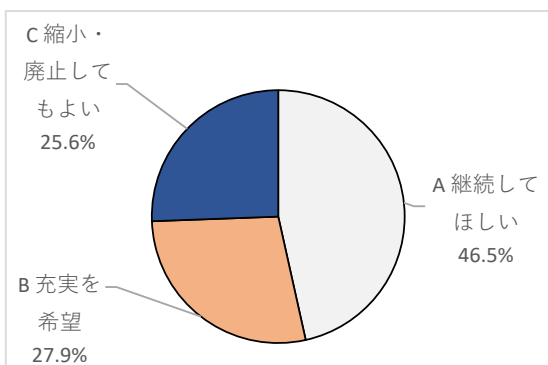
■ ストレスドック



■ インフルエンザ予防接種助成

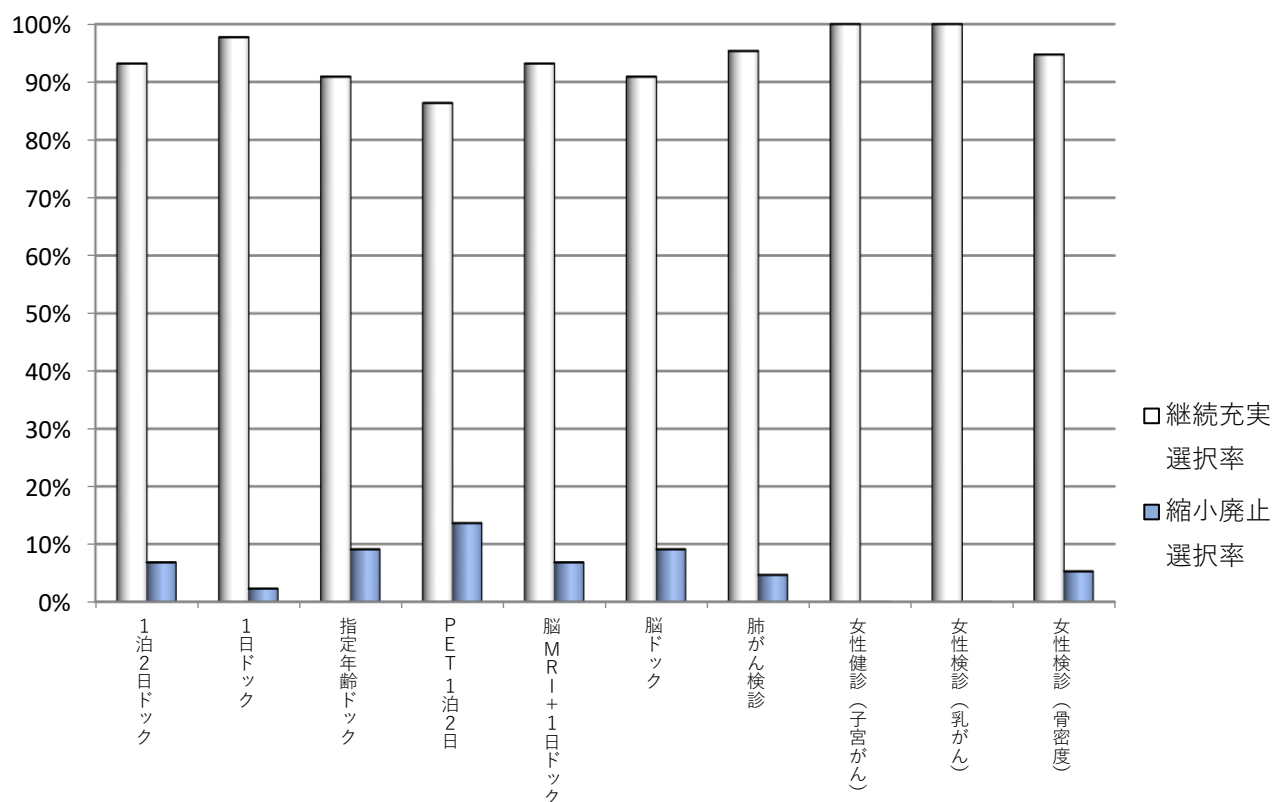


■ 健康ポイント付与事業

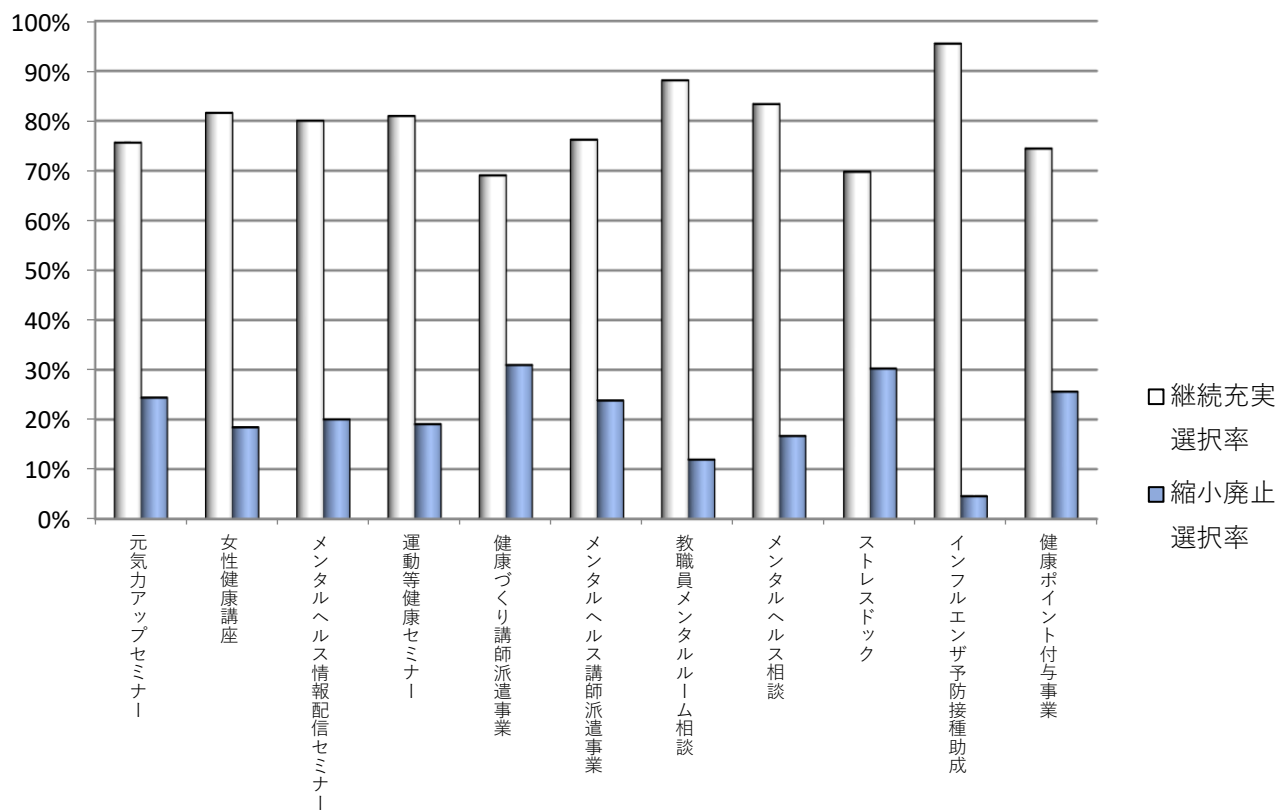


< 厚生事業の今後の方向性について >

健診事業

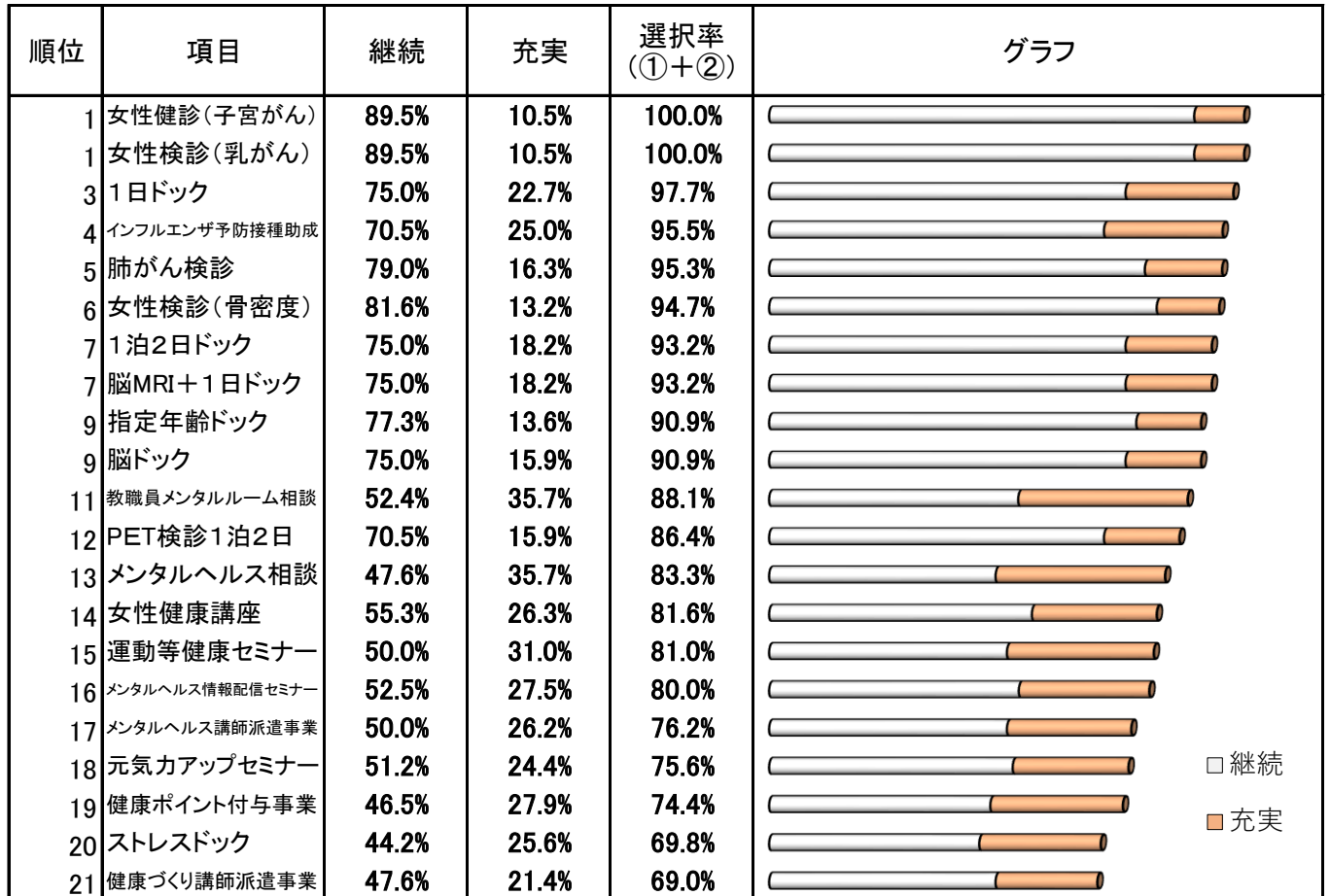


健康づくり事業

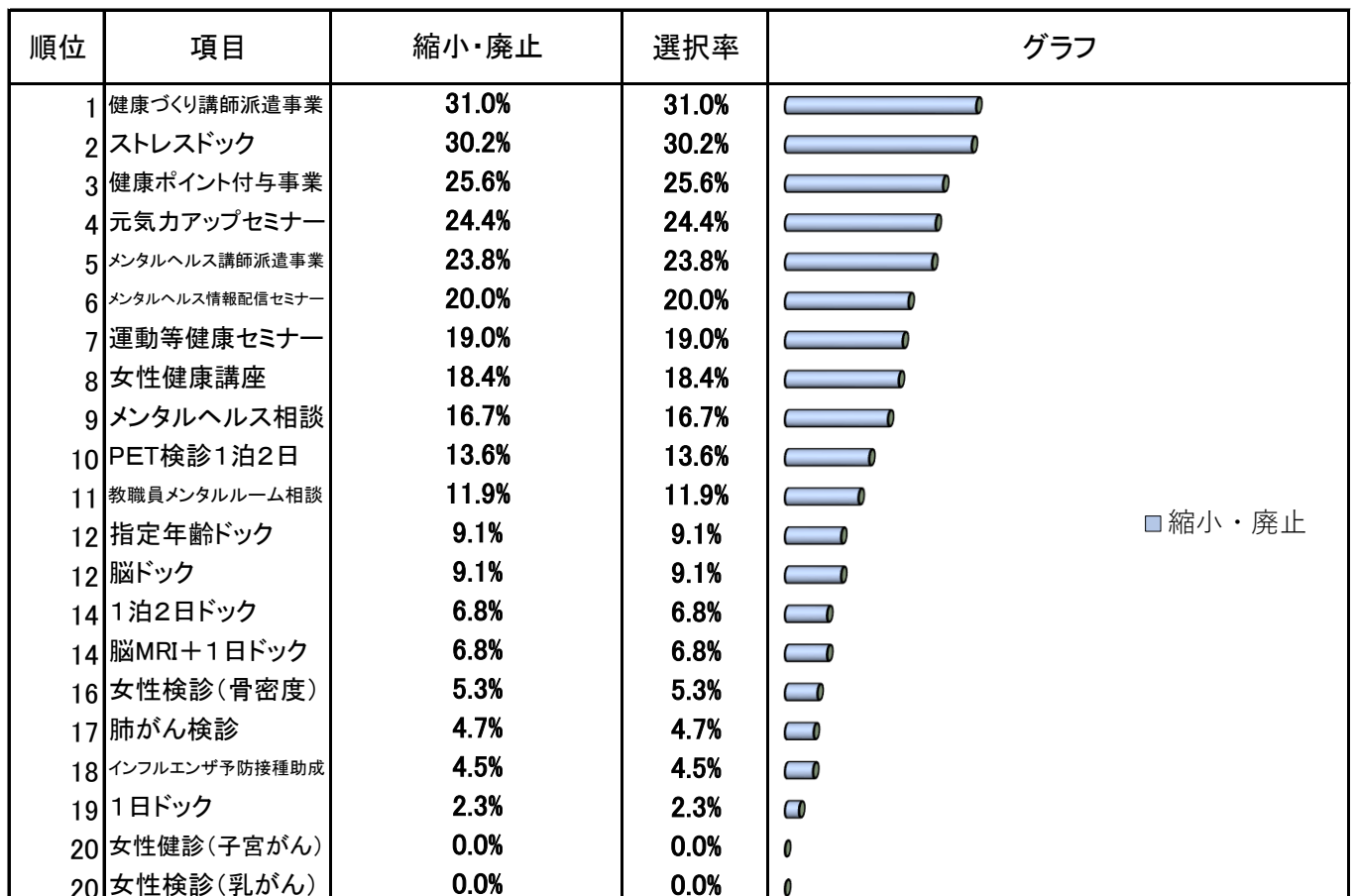


＜厚生事業の今後の方向性について＞

継続・充実してほしい事業



縮小・廃止してもよい事業



共済組合事業に対する意見・要望

1 概 要

意見・要望は、一人が複数の内容を記入している場合があり、それらを別に集計すると、項目別の集計は17件となった。

(1)意見の件数

項目	意見等件数
共済組合の厚生事業について	17件

(2)共済組合の事業についての主な意見

現在実施している厚生事業についての主な意見

- ・検診以外は短期組合員でも参加できるのか分からなかった。
- ・厚生事業がこんなにあるなんて知りませんでした。メンタルヘルス相談等広く周知すれば、心が折れずに済むことも増えると思います。
- ・1日ドックの病院がもう少し増えても良いと思う。

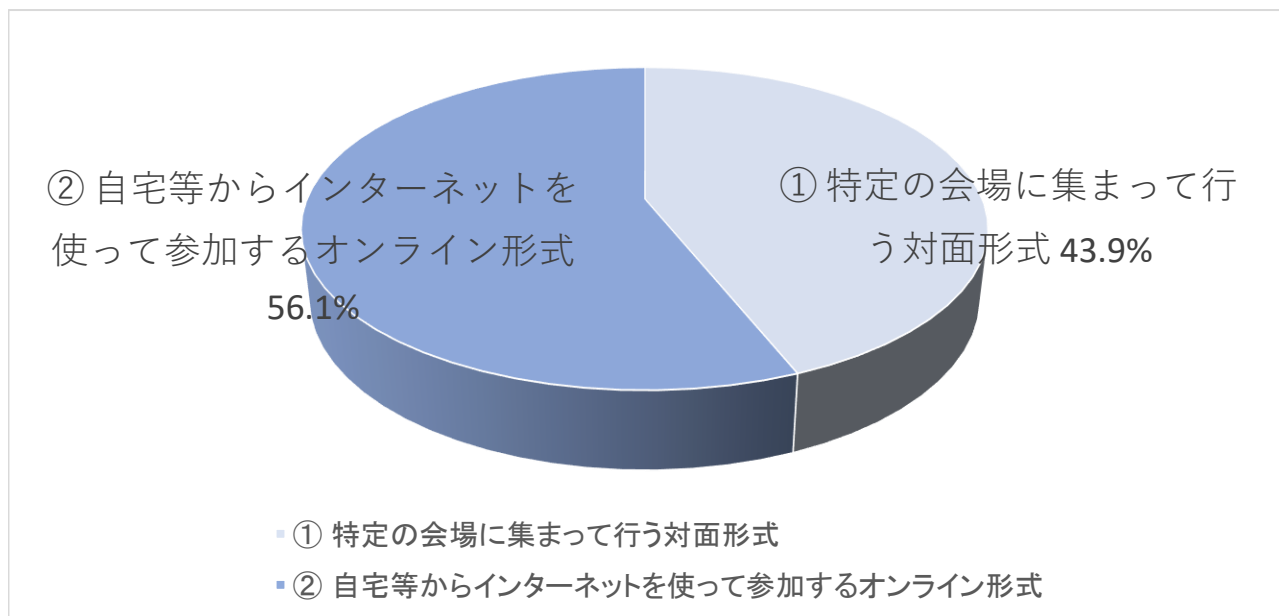
新たに実施したらよいと思う分野・事業についての主な意見

- ・子育て支援の推進をしたらどうか。子育てをしながら仕事をしている方を対象に子供と一緒に参加できるイベントやプログラムを実施し交流をしたらどうか。
- ・ヨガやエアロビクス等の体を動かすストレス解消や健康増進を行ってほしい。

その他に工夫、変更した方がよいと思うことについての主な意見

- ・自己負担額が減ればうれしい。特にPET健診はがんの早期発見によいと思うが高額なので受診できない。
- ・女性検診が職場の健康検診の時に一緒に受診できると良いと思います。

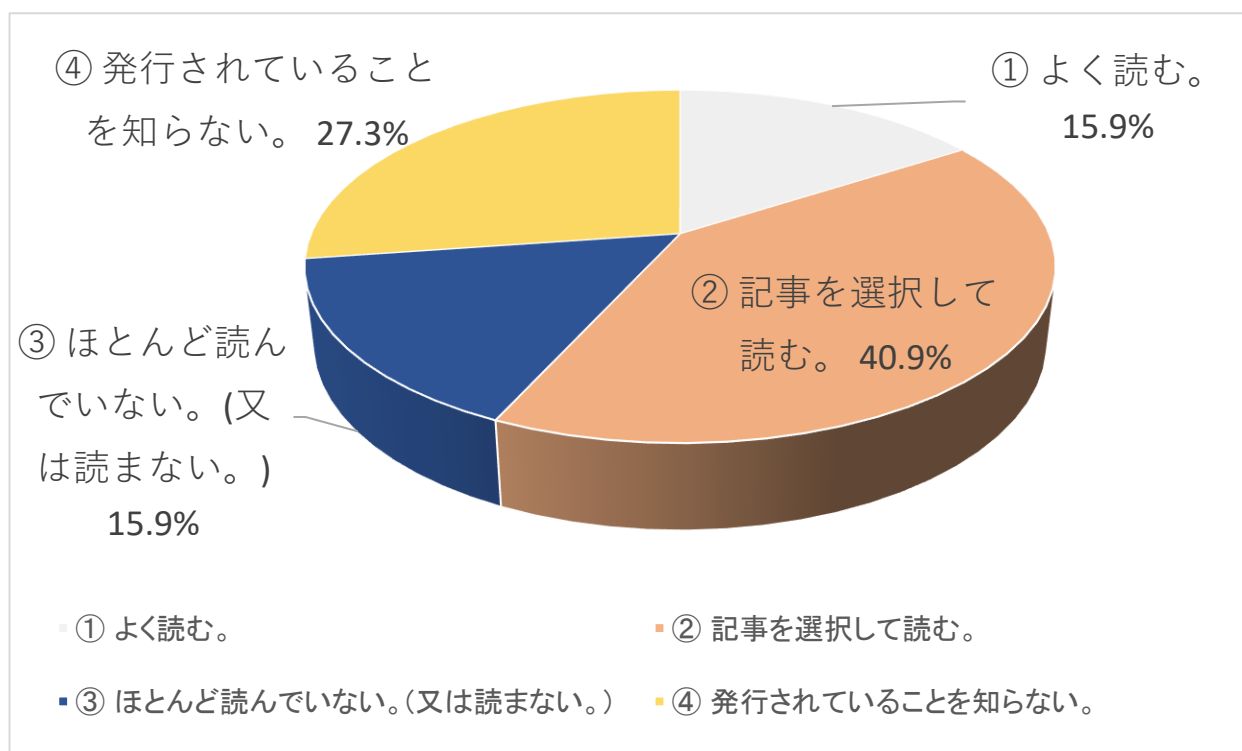
■(1) 共済組合が開催する心身の健康や生涯設計に関するセミナーについて、あなたならどちらの方法が参加しやすいですか。



対面形式について(全11件)
・対面式の方が質問等しやすく、集中して参加できると思う
・直接話した方がセミナーにおいてのコミュニケーションが活性化するような気がするから

オンライン形式について(全22件)
・オンラインの方が気軽に参加できるし、時間の拘束もない
・子育て中であり、家での受講の方が気軽に参加できる
・会場に向かう時間を短縮できる

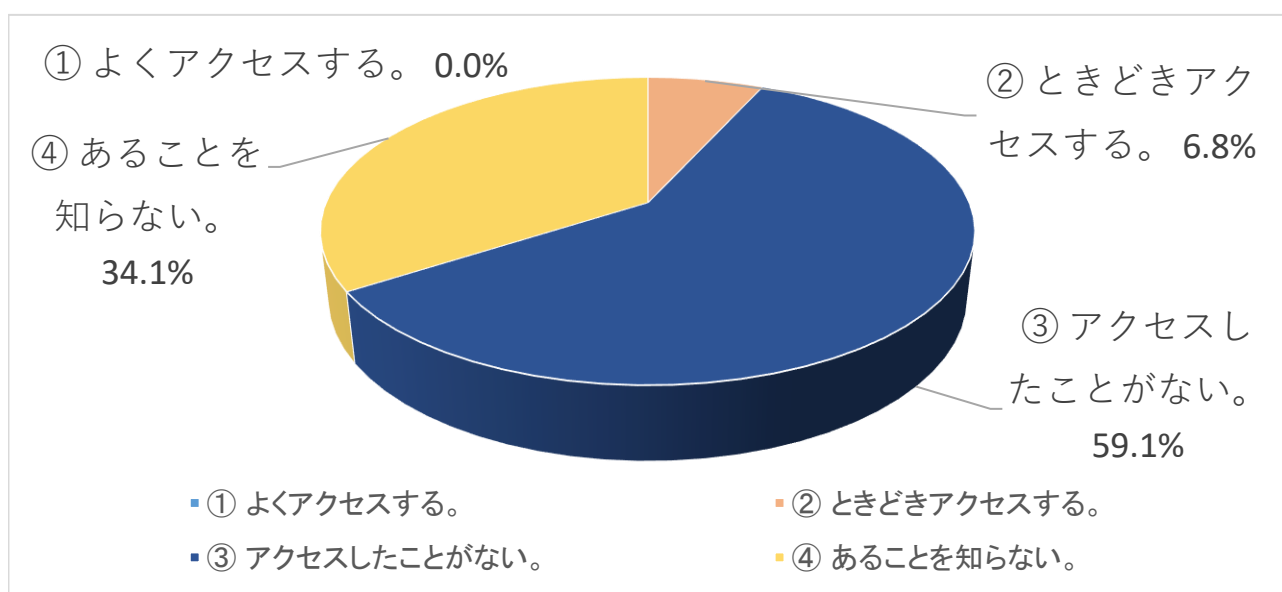
■ (3) 広報誌「福利いしかわ」(年4回全員に配付)を読んでいますか。



③ほとんど読んでいない。(又は読まない。)を選択した理由(全3件)

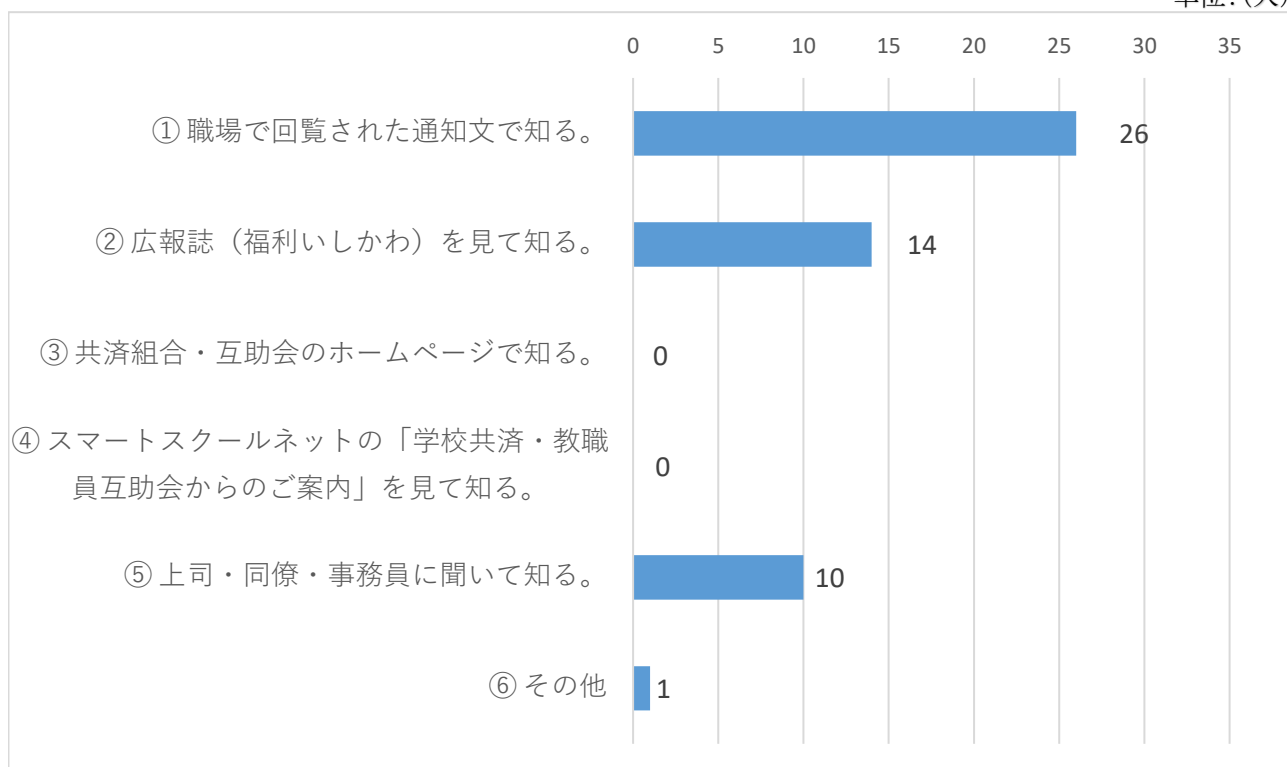
- ・興味ひかれないから
- ・内容自体は良いと思うのですが、個人的な興味が低いです。
- ・まだ受領経験がないため

■ (4) 共済組合のホームページにアクセスしたことはありますか



■ (5) 事業等の内容は、どのような方法で知りますか。
(複数回答可)

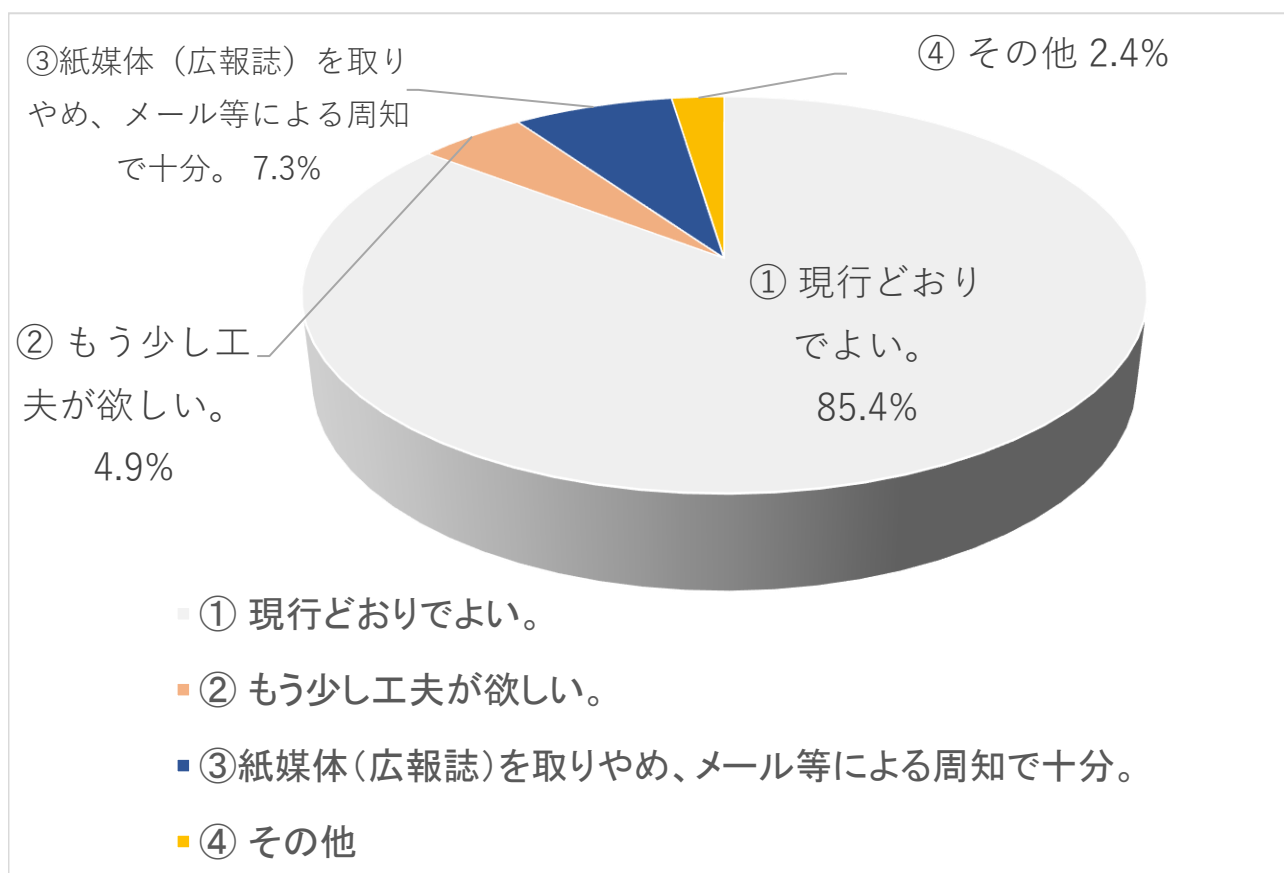
単位: (人)



⑥その他を選択した理由(全1件)

・ほとんど知らないし、案内を見た覚えがない。自分にどう関わりがあるのかよく分かっていない。

■ (6) 広報(通知文、広報誌、ホームページ)での事業の周知方法は、現行のとおりでよろしいですか(いずれか一つにチェック)。



②もう少し工夫がほしいを選択した理由(全1件)

・通知文や広報誌も築いていないしHPを意識して検索したこともないので、職場の提示版やメール通知を増やしてほしい。

④その他を選択した理由(全1件)

・スマホのアプリ等での配布・周知があると楽だと思います。

共済組合に対する自由意見

(1) 自由意見欄について

自由意見（全4件）
・厚生事業に興味がなかったが、アンケートを記入しながら活用できればよいと感じた。広報誌もよく読まず、HPの存在も知らなかったため、見てみようと思った。
・病気になってから手続きのために知るのではなく、もっと周知が必要だと思います。
・任用職員の受けられる福利厚生がわかりやすい一覧等があったら助かります。
・会計年度職員で共済組合に変更になり1年目で、何が利用できて何ができないのかもまだ良く分かりません。きちんとお答えできずに申し訳ありません。